



高嶺小中学校移転整備基本計画 概要版

1 業務の背景と目的／対象地

■はじめに

糸満市では、小中一貫教育の導入を進め、高嶺小・中学校区をモデル校区として先行的に事業を推進してきた。本計画は、老朽化した小学校施設を現中学校敷地へ移転整備し、施設一体型の小中一貫教育校としての環境を整えるため、令和6年3月の過年度計画を見直し、高嶺小中学校移転整備基本計画を策定するものである。

■対象地

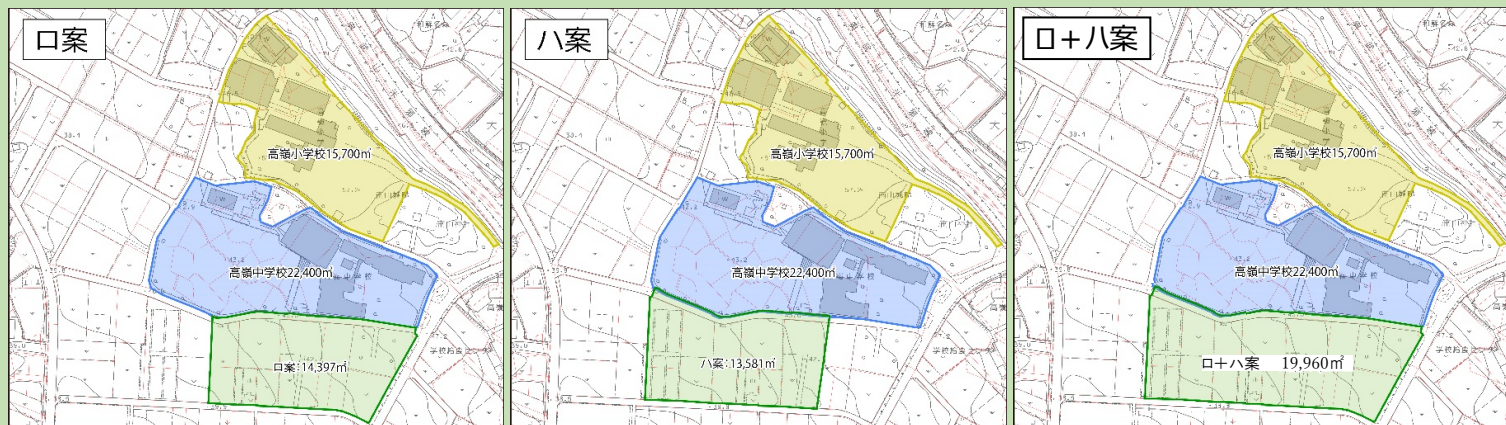
- ・高嶺中学校敷地と隣接する拡張敷地候補地を対象とする。
- ・周辺は市街化調整区域、農業振興地域・農用地を含む。
- ・隣接する高嶺小学校一帯は南山城跡の保存・活用が想定される。



2

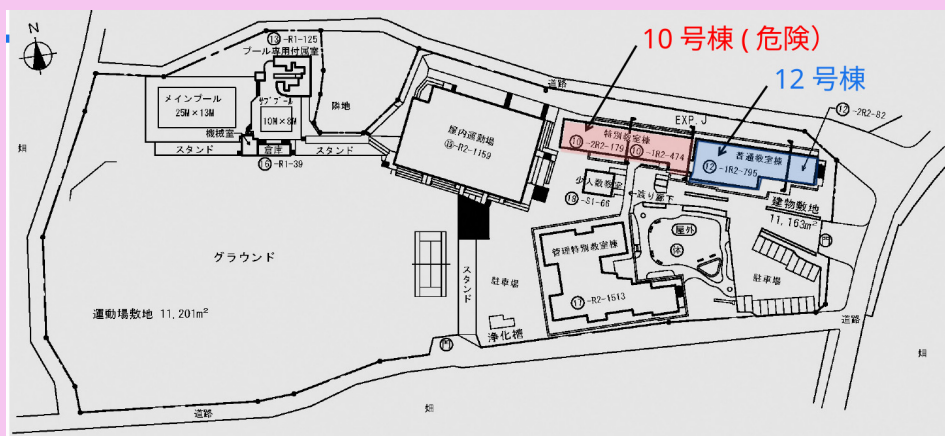
■過年度計画からの見直し点

- ・事業費が過大で、市の財政負担の軽減が必要。
- ・国の補助基準面積の範囲を基本に、補助採択に配慮。
- ・拡張敷地側に新校舎を配置する案も検討。検討対象敷地は、過年度計画で評価が高かった〇案・八案を基本とする。さらに、南山城跡指定範囲が拡大する可能性を踏まえ、〇＋八案を検討対象に追加する。



■中学校校舎の老朽化

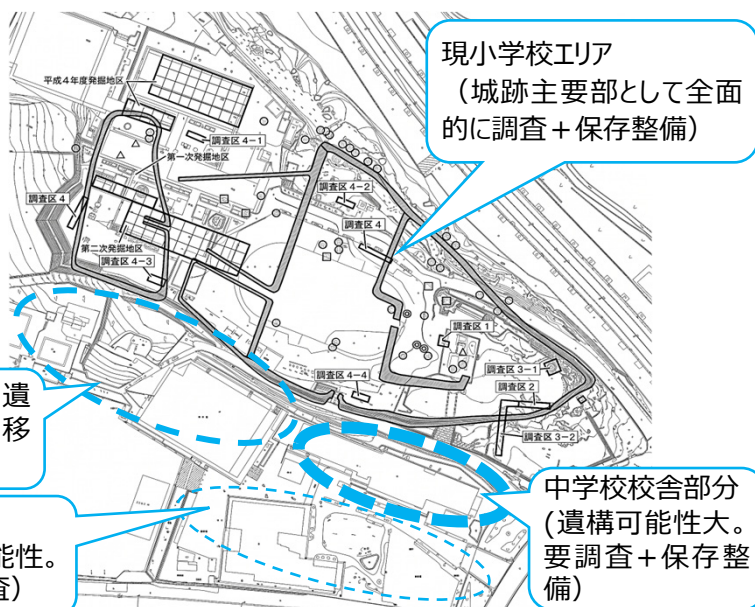
- ・10号棟は旧耐震基準で、危険建築物と診断された。
- ・12号棟は新耐震基準だが経年劣化が進行している。
- ・継続利用には早急な補修と、将来の建て替え検討が必要。



現高嶺中学校 全体配置図

■南山城跡への配慮

- ・現小学校エリアは南山城跡主要部として全面的な調査・保存整備を行う。
- ・中学校校舎、体育館・プール周辺にも遺構の可能性が出てきた。
- ・将来の史跡指定や保存区域拡大を見越した用地確保が必要である。



3 基本方針：改築・拡張・配置

① 中学校校舎は「改築」

- ・10号棟は危険建築物と判定され、遺構にも干渉する可能性が高い。
- ・改修よりも、将来更新と補助活用の面で改築のメリットが大きい。

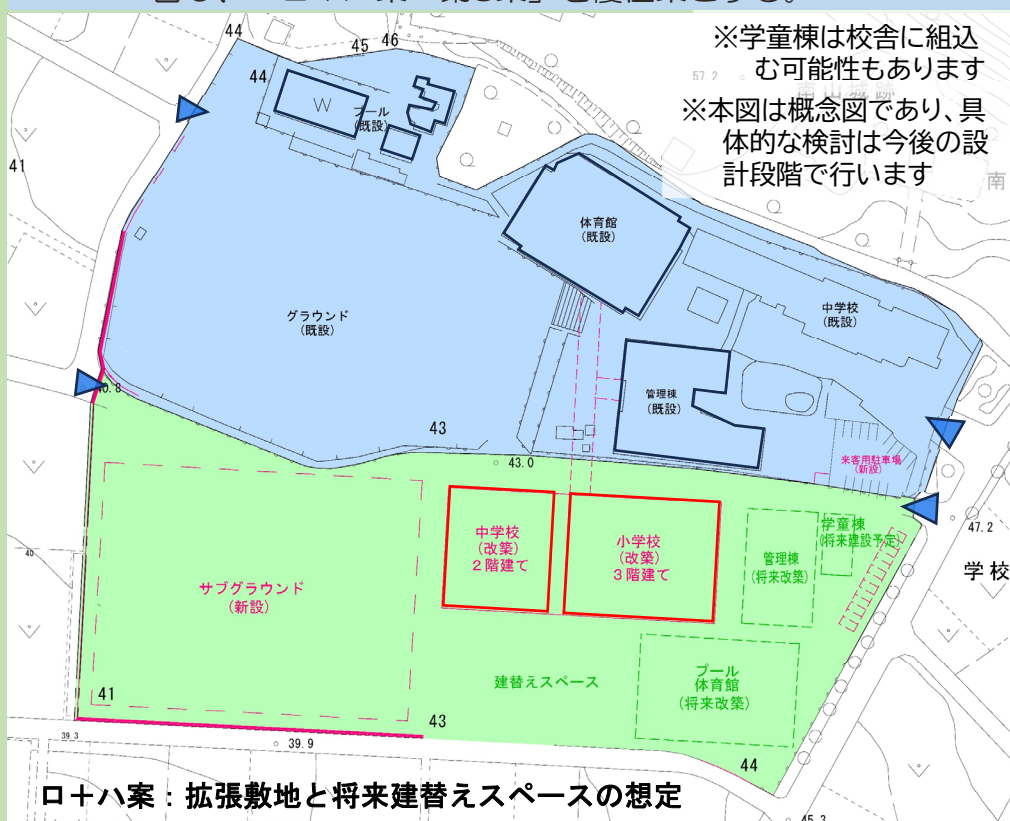
② 拡張用地は「口十八案」

- ・過年度計画より広い範囲を確保し、将来の体育館・プール等の更新に備える。
- ・史跡保存区域の拡大で学校用地が減少する可能性にも対応。

③ 新校舎は拡張用地へ

- ・小・中の新校舎を拡張用地に配置し、既存グラウンドを活用。
- ・工事中もグラウンドを利用できることと、将来の管理棟・体育館配置の合理性を確保する。

選定方針：児童生徒の活動、管理、コスト、将来更新のバランスを総合し、「□＋八案・第3案」を優位案とする。



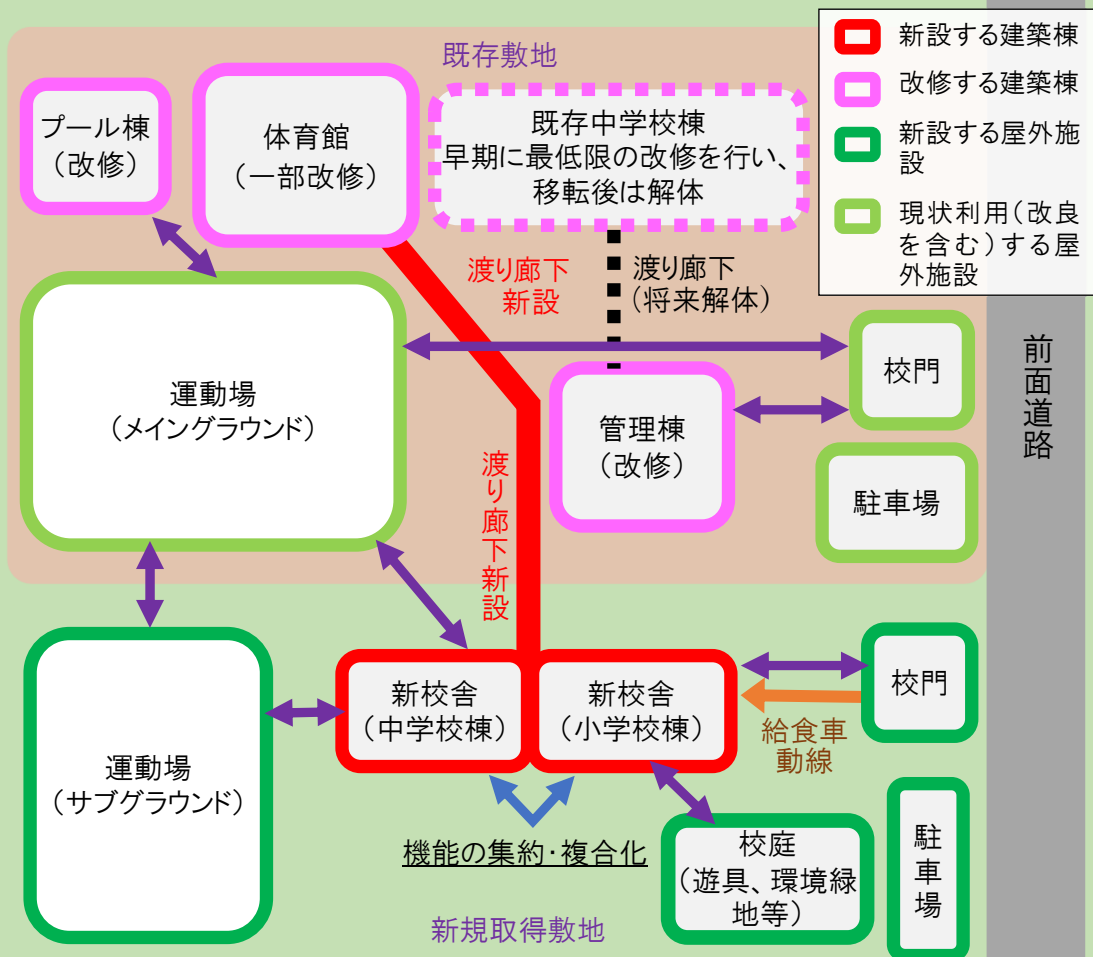
4 配置の考え方

■整備対象の関係

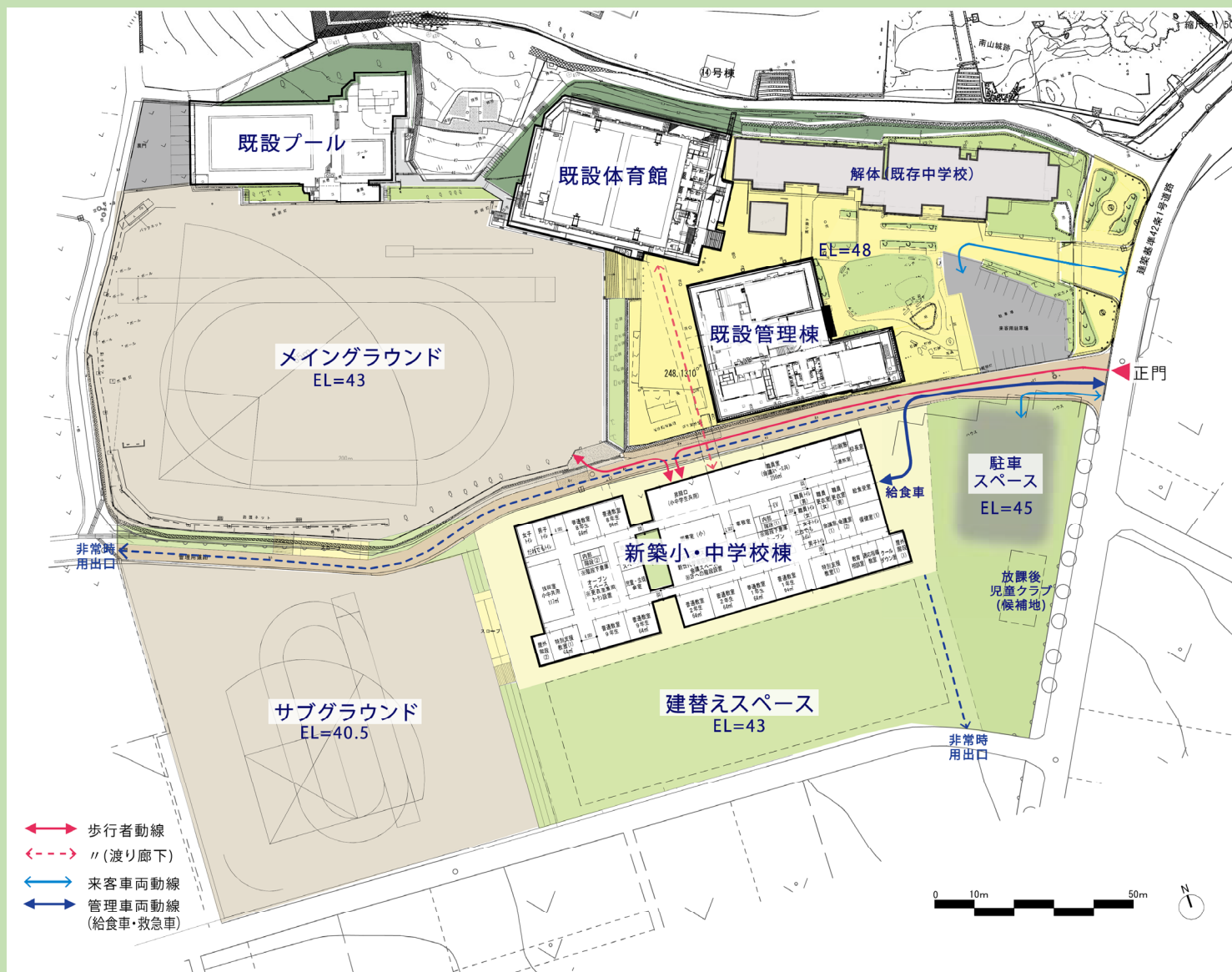
- ・新校舎（小学校棟・中学校棟）は渡り廊下で管理棟・体育館と接続し、バリアフリー動線を確保する。
- ・管理棟・体育館・プール棟は改修し、必要な期間活用する。
- ・既存中学校棟は早期に最低限の改修を行い、移転後は解体。

■施設整備の基本方針

- ・児童生徒のスムーズな学習・生活動線を確保。
- ・将来の教室数や使い方の変化、管理棟・体育館等の建替えに対応。
- ・4-3-2制にも対応可能な教室配置と交流空間をつくる。
- ・災害時・防犯・維持管理に配慮した施設計画とする。



5 配置計画・動線計画



■配置計画の要点

- ・新築小・中学校棟は拡張敷地に配置し、既存管理棟とは渡り廊下で接続。
- ・既存メイングラウンドを活用し、拡張敷地側にサブグラウンドと建替えスペースを確保。
- ・将来の体育館・プール・管理棟の更新にも対応できる余地を残す。

南山城跡との関係

遺構の存在が推測される既存中学校敷地は、将来的に学校敷地外となる可能性を考慮し、施設機能を拡張用地側へ移していく配置とする。

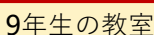
■動線計画の要点

- ・歩行者主動線と管理・来客車両動線を分け、交差を抑える。
- ・給食車・救急車が校舎へ接近できる管理動線を確保。
- ・正門付替えや新校舎中央の昇降口配置により、登下校動線を明確化。
- ・非常時・災害時用の外部との避難動線を確保。

6

※本図はおよその規模と機能を設定したものです。建物の形態や諸室の具体的な配置は、今後の基本設計で検討します。

職員室、事務室、校長室など管理諸室

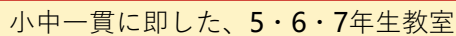


1、2年生の教室

保健室、給食受室

管理棟への

3・4年生教室



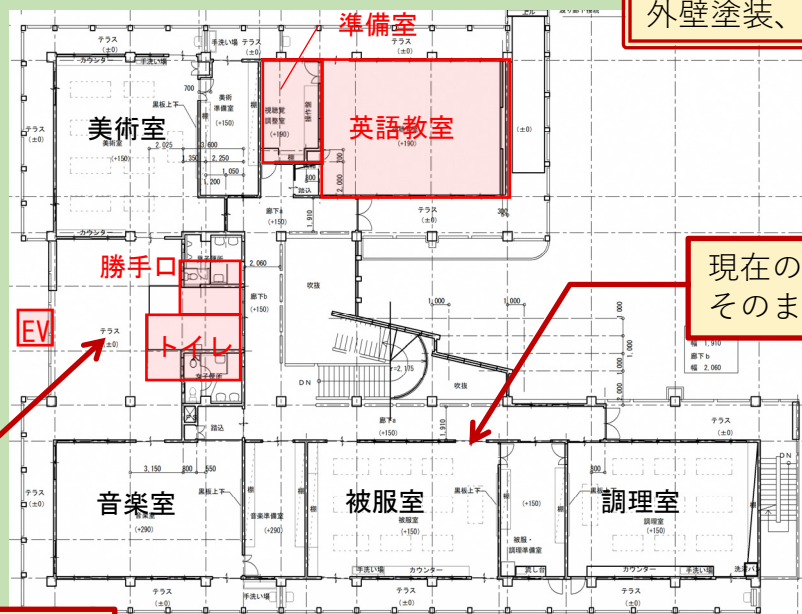
主に電気・機械設備を配置

- ・1階に管理諸室、保健室、給食受室、1・2年生教室、9年生教室を配置。
- ・2階に3・4年生教室、5・6・7年生教室を配置し、小中一貫教育に対応。
- ・中央に図書室、オープンスペース、新世代学習空間を設け、多様な活動に対応。
- ・3階は主に電気・機械設備を配置。

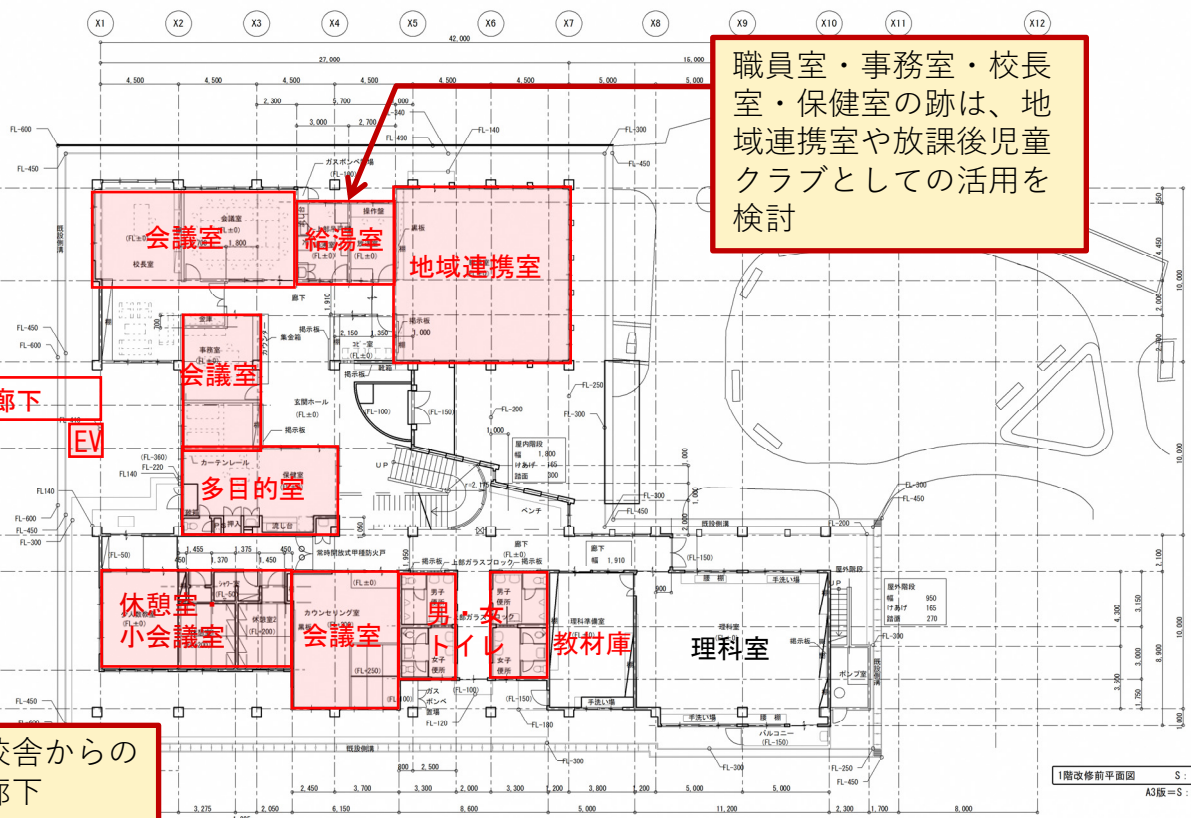
- 電気室・機械室、非常用発電機室、備蓄倉庫等を計画し、災害時の対応力を高める。



7 既存施設の改修計画



2階平面図



1階平面図

■管理棟改修

- ・現在の特別教室はほぼそのまま活用する。
- ・職員室・事務室・校長室・保健室の跡は、地域連携室や放課後児童クラブ等としての活用を検討。
- ・エレベーター整備、トイレ改修、外壁塗装、屋上防水を行う。

小学生用の器具庫を設置

建物の内部補修・外壁塗装、
屋根瓦撤去等

ろ過器・配管更新そ
の他設備の更新

プール槽・プール
サイド補修・防水

運動器具更新

・コートライン引き
・バスケットリング取換
(ミニバスケット対応)

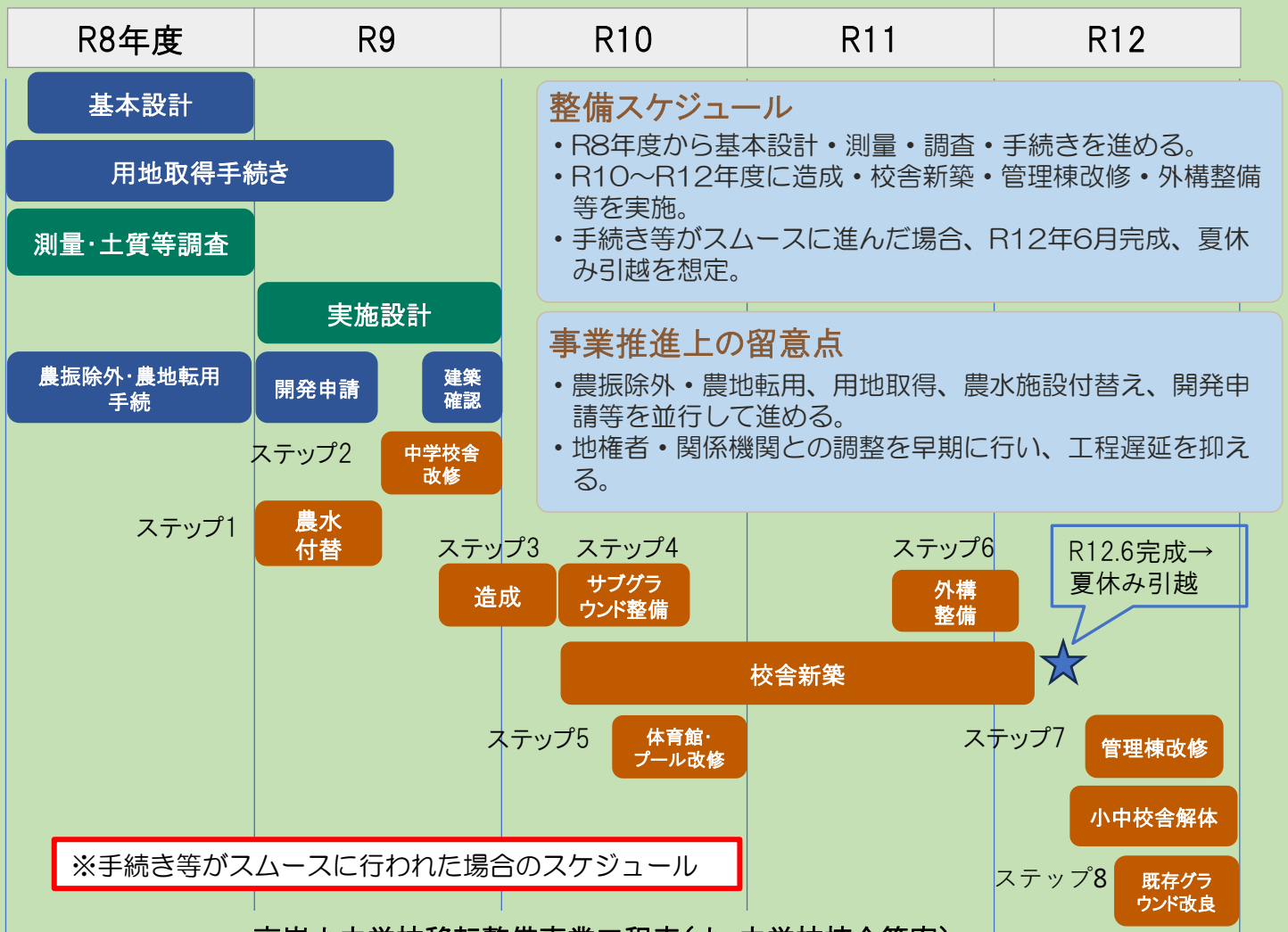
体育館

プール

■体育館・プール改修

- ・体育館は小学生用器具庫、コートライン、ミニバスケット対応リング等を整備。
- ・プールは槽・プールサイド補修、防水、ろ過器・配管更新、建物補修を行う。
- ・既存中学校棟は移転までの安全確保を主目的に、最小限の改修とする。

8 整備スケジュール



高嶺小中学校移転整備事業工程表(小・中学校棟合築案)

基本計画段階での概算です。
表中の※印は、過年度算定では本事業の対象外としていたもの。

		過年度（R5）概算	今回概算（R8年度基準）	
		税込価格（円）	税込価格（円）	備考
用地費	計	125,970,000	278,990,936	
	用地費	125,970,000	242,777,000	取得面積拡大、補償費の考え方の見直し
	※その他		36,213,936	【項目追加】鑑定、補償等の委託費
設計費	計	308,262,900	531,213,280	
	建築（新築）設計・監理費	185,095,900	282,322,030	中学校校舎改築分を追加、詳細見直し
	建築（改修）設計・監理費	41,129,000	77,982,135	改修面積減。監理範囲見直しで増
	インフラ仮設計画	3,399,000		改修設計に含む
	造成及び屋外施設設計費	49,555,000	51,140,650	
	造成にかかる土質調査費	9,790,000	17,623,697	造成・建築用一式
	付替え農道及び農水施設測量	4,092,000	5,661,370	
	付替え農道及び農水施設設計	15,202,000	18,149,340	
	※その他		78,334,058	【項目追加】用地測量、アスベスト調査、建築以外の監理費、現グラウンドの改修設計、解体設計費
工事費	計	3,611,940,200	4,702,526,027	
	新設棟建築工事費	2,302,740,000	3,529,642,600	中学校校舎改築分を追加
	改修工事費	663,751,000	362,442,216	改修面積減
	造成工事費	121,660,000	104,185,598	擁壁工を縮減
	土木工事費	500,280,000	341,962,522	現グラウンド活用を前提に縮減
	かん水施設移設工事費	23,509,200	28,924,776	
	※その他		335,368,315	【項目追加】小学校・中学校校舎解体、現グラウンド改良工事
物価上昇	計		1,511,258,439	
	※R8以降の物価上昇影響額見込み		1,511,258,439	設計費年7%、工事費年10%で上昇と仮定
総計		4,046,173,100	7,023,988,683	

※歳入は物価上昇を見込んでいません。

■補助金等の試算（最大期待額）

財源	金額
A 文科省の国庫補助金	1,997,652,000
B 沖縄振興特別推進交付金	382,994,440
C 補助事業の自己負担額に対する起債	554,300,000
D 単独事業費に対する起債	898,600,000
計	3,833,546,440

■市負担額の試算

試算ケース	工事費上昇率年10%、 設計費上昇率年7%
事業費概算	7,023,988,683
補助金等額	3,833,546,440
市負担額	3,190,442,242



——南山城跡と高嶺小学校——
現高嶺小学校が位置する南山城跡は、聖地としても大切に受け継がれてきました。子供たちが元気に遊ぶそばでは、いまでも折々の儀式が行われています。小学校が隣接敷地に移転したのちは、琉球の歴史と心を伝える城跡として調査・整備を進めていきます。

本計画で示す施設の配置計画やスケジュールは、確定したものではなく、今後の設計段階で変わる可能性があります。

高嶺小中学校移転整備基本計画

発行：令和8年6月

発行者：沖縄県糸満市教育委員会

事務局：糸満市教育委員会教育総務課

〒901-0392

沖縄県糸満市潮崎町1丁目1番地

TEL:098-840-8160

FAX:098-840-8161

編集協力：株式会社 国建